

令和3年度 第1回 八戸市生活支援体制整備推進協議会

次 第

【議 事】

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 通いの場マップ等の作成について | 資料1 |
| (2) 学生サポーター養成研修会の開催について | 資料2 |
| (3) 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催について | 資料3 |
| (4) 生活支援コーディネーターの変更について | 資料4 |

通いの場マップ等の作成について

1. 市における通いの場についての取組

核家族化の進展による一人暮らし高齢者の増加や地域のつながりの希薄化により閉じこもりや孤立する高齢者が増加している現状に対して、高齢者が住み慣れた地域の中でいつまでも明るく元気に、生きがいを持ち続けながら暮らしていくための方策として通いの場の創設を推進してきた。

一方で、高齢者ほっとサロン等の既存の通いの場との整理が課題となっていた。

2. 国が示す通いの場の範囲

令和3年8月3日付け事務連絡で厚生労働省老健局老人保健課より「通いの場の類型化について」通知があり、「一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会取りまとめ」（令和元年 12 月 13 日）を踏まえ、通いの場の範囲が明確に示された。

運営 ※	場所	活動
住民個人(有志・ボランティア等)	個人宅・空き家	体操(運動)
住民団体(自治会、NPO法人等)	公民館・自治会館・集会所	会食
行政(介護予防担当部局)	公園	茶話会
行政(介護予防担当部局以外)	農園	認知症予防
社会福祉協議会	学校・廃校	趣味活動
専門職団体	医療機関の空きスペース	農作業
医療機関(病院、診療所、薬局等)	介護関係施設・事業所の空きスペース	生涯学習
介護関係施設・事業所	店舗の空きスペース・空き店舗	ボランティア活動
民間企業		就労的活動
		多世代交流

※住民以外が運営する場合でも、住民が主体的に取り組むことに留意すること

＜「通いの場」の捉え方＞ 上記の類型化も参考に、

- ① 介護予防に資すると市町村が判断する通いの場であること
- ② 住民が主体的に取り組んでいること
- ③ 通いの場の運営について、市町村が財政的支援を行っているものに限らないこと
- ④ 月1回以上の活動実績があるもの

「一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会取りまとめ」を踏まえ、明確化する範囲

なお、類型化で示しているものは例示であり、多様な通いの場の取組が展開されるよう、今後も先進的な事例等を参考に更新予定

出典:「通いの場の類型化について(ver.1.0)」(令和3年8月3日 事務連絡 厚生労働省老健局老人保健課)

3. 市内における通いの場

国が、多様な通いの場を推進していることから、現在市内で展開されている通いの場を次のとおり分類

別紙1のとおり。

4. 地区別における通いの場マップの作成

高齢者支援センターに配置されている24人の生活支援コーディネーターと連携し、市内25地区別に通いの場マップを作成。年に1回通いの場マップを更新する。

別紙2のとおり。

5. 通いの場マップの活用方法

- 通いの場の開催場所が見える化することで、通いの場の空白地帯が把握できる。
- 生活支援コーディネーターが、地域住民に対して通いの場について情報提供することができる。
- 当面の間は内部資料として活用する予定であるが、今後は、通いの場以外にも配食サービスなどの生活支援サービスの情報も掲載することを考えており、ケアプラン作成や地域ケア会議でインフォーマルサービスを位置づけるための参考資料となる。

市内における通いの場

活動名	活動概要	活動回数	参加数	団体数	運営	場所	活動
高齢者 ほっとサロン	地域ごとに会食やレクリエーションを通じて孤立感を解消し、仲間づくりや心身機能の維持向上を図る。	306回	5,970人 (延べ人数)	72カ所 (R2年度)	○住民団体	○公民館・ 自治会館・ 集会所 ○公園	○体操(運動) ○会食 ○認知症予防 ○趣味活動 ○生涯学習 ○ボランティア活動
老人クラブ	仲間づくりを通じて生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行う。知識や経験を活かして地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組む。	—	4,720人 (会員数)	144クラブ (R3.4.13現在)	○住民団体	○公民館・ 自治会館・ 集会所 ○公園	○体操(運動) ○会食 ○認知症予防 ○趣味活動 ○生涯学習 ○ボランティア活動
公民館 自主クラブ	趣味、健康・軽スポーツ、料理、レクリエーション等の活動を行う。	—	4,818人 (会員数)	329クラブ (R3.4.13現在)	○住民団体	○公民館・ 自治会館・ 集会所	○体操(運動) ○会食 ○認知症予防 ○趣味活動 ○生涯学習 ○ボランティア活動
介護予防教室	運動や栄養、口腔機能、認知症予防について学ぶことで高齢者の生活機能を高め、社会参加を促す。	165回	2,092人 (延べ人数)	—	○介護関係施設・事業所	○公民館・ 自治会館・ 集会所	○体操(運動) ○認知症予防

「オレンジカフェ」が市内に6か所あり、その他にも各地域で社会福祉法人や町内会などによるレクリエーションなどの活動や取組が行われている。

通いの場マップ～湊地区～



No.	施設名	活動団体	活動内容
①	湊公民館 〒031-0812 湊町字中道 64-7 ☎33-4411	〇〇クラブ (自主クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> 内容：大正琴 日時：月曜(月 2 回)9：30～12：30 費用：月 2,500 円
		〇〇ダンスクラブ (自主クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> 内容：社交ダンス 日時：月曜(月 3 回)13：00～15：00 費用：月 1,500 円

	☎33-4411	●●の会 (老人クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：運動、趣味活動等 ・日時：毎週水曜 ・費用：会費 円
		●●寿会 (老人クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：運動、趣味活動等 ・日時：毎週水曜 ・費用：無料
		〇〇の会 (ほっとサロン)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：趣味活動、おしゃべり等 ・日時：毎週土曜 ・費用：月 円
		介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：体操、ストレッチ、認知症予防等 ・日時：不定期 10：00～11：00 頃 ・費用：無料
②	下条集会所	●●の会 (老人クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：運動、趣味活動等 ・日時：毎週水曜 ・費用：会費 円
③	湊浜通り生活館	〇〇の会 (ほっとサロン)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：趣味活動、おしゃべり等 ・日時：毎週金曜 ・費用：月 円
④	上の山生活館	●●老人クラブ (老人クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：運動、趣味活動等 ・日時：毎週火曜 ・費用：会費 円
⑤	大沢集会所	介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：体操、ストレッチ、認知症予防等 ・日時：不定期 10：00～11：00 頃 ・費用：無料
⑥	赤坂集会所	〇〇の会 (ほっとサロン)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：趣味活動、おしゃべり等 ・日時：毎週土曜 ・費用：月 円
⑦	ホロキ長根集会所	〇〇の会 (ほっとサロン)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：趣味活動、おしゃべり等 ・日時：毎週土曜 ・費用：月 円
⑧	永楽町集会所	介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：体操、ストレッチ、認知症予防等 ・日時：不定期 10：00～11：00 頃 ・費用：無料
⑨	八戸セメント グラウンド	〇〇の会 (ほっとサロン)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：趣味活動、おしゃべり等 ・日時：毎週月曜 ・費用：月 円

学生サポーター養成研修会の開催について

1 開催日時

令和3年9月頃で調整

2 開催場所

八戸学院大学

3 目的

生活支援体制整備事業に係るワークショップに参加する意向がある学生に対して、ワークショップの基礎理解を促すための研修を実施することで、より能動的に参加できるようにする。

4 主催

八戸市（高齢福祉課）

5 参加条件（全てを満たす者）

- ①八戸学院大学又は八戸学院大学短期大学部の正科生であること
- ②生活支援体制整備事業に係るワークショップへの参加意向を有すること
- ③所属先(担任等)からのフォローアップを受けられる者

6 プログラム

日時	科目	講師
9月頃で調整 (16:10~)	八戸市の現状と高齢者福祉施策について (60分)	高齢福祉課職員
	地域包括ケアシステムの基礎理解について (60分)	小柳 達也氏 (八戸学院大学 准教授)
	「介護予防」に活用できるレクリエーションについて(60分)	米田 政葉氏 (八戸学院大学 助教)

米田 政葉(よねた まさは)

<職位> 八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 助教

<資格・学位> 社会福祉士／博士(臨床福祉学)

<専門分野> 若者のひきこもり予防／学生のメンタルヘルス

<最終学歴> 北海道医療大学看護福祉学研究科臨床福祉学専攻博士後期課程

<職歴>

2016年4月 札幌大学地域共創学群スポーツ文化専攻非常勤講師(～2021年3月)

2018年4月 札幌保健医療大学保健医療学部看護学科非常勤講師(～2021年3月)

2020年4月 北海道医療大学先端研究推進センター特別研究員(～2021年3月)

<社会活動>

2016年4月 北海道勤医協労働組合「介護施設交代制労働実態調査」外部協力者(～2017年12月)

2018年4月 北海道勤医協労働組合「医療福祉の現場で働く若手職員に対するハラスメント実態に関する検討」外部協力者(～2018年12月)

2019年9月 特定非営利活動法人いさはやスリーサポート研究会令和元年9月多職種・多分野研修会、講師

<主要な業績>

北海道民が総活躍できる地域社会づくりに向けたひきこもり予防体制の確立に関する研究(北海道開発協会平成30年度研究助成論文集)

COVID-19 流行下における保健医療福祉系学生の抑うつ傾向に関連する要因(北海道公衆衛生学雑誌 34 巻 2 号)

<受賞歴>

第58回日本社会医学会総会奨励賞(受賞演題名：「北海道内の高校生におけるひきこもり親和性と学校満足度の関連」)

住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催について

1. 開催目的

- 地域住民自身が、地域課題についての解決策やその実施方法、解決策の実施にあたり住民が力を発揮できること等についての検討を行う。
- 地域活動の活性化、地域の支え合いの体制づくりの推進を図る。
- 地域包括ケアシステムの周知を図る。

2. 開催概要

八戸学院大学の教員や学生などからの協力を得ながら、2 地区を各 2 日に分けて計4日ワークショップを実施することとし、1 回目は 10 月頃に開催予定。

	内 容
1 日目 (90 分)	1 話題提供 (20 分) ○八戸市の高齢者福祉の現状 ○地域ケアシステム 2 ワークショップ ○アイスブレイク (10 分) ○グループワーク (60 分) ・テーマ「これからの介護予防について」 ① 地域課題について考えよう ② その解決策や実施方法について考えよう ③ 発表
2 日目 (90 分)	1 1 日目のグループワークの振り返り (20 分) 2 ワークショップ ○グループワーク (70 分) ・テーマ「解決策を実践するための計画を立てよう」 ① いつ・だれが・どこで・なにを・どうする ② 発表 ③ 振り返り

3. 感染症予防対策

- 事前に参加者の健康チェック(当日の検温、症状の有無の確認など)
- 換気 ○手指消毒 ○各自マスク着用
- いす等の備品のアルコール消毒

生活支援コーディネーターの変更について

高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けて、資源開発やネットワーク構築、ニーズと取組のマッチングを行うために配置している生活支援コーディネーターについて、人事異動や退職により次のとおり変更があった。

1. 第2層生活支援コーディネーター

高齢者支援センター	変更後	変更前
市川・根岸地区 高齢者支援センター 寿楽荘	堀内 路 (社会福祉士)	井ノ上 洋一 (社会福祉士)
三八城・根城地区 高齢者支援センター みやぎ	手倉森 尚子 (主任介護支援専門員)	堀切川 大地 (社会福祉士)
長者・白山台地区 高齢者支援センター ちょうじゃの森	中野 直子 (看護師)	椀本 隆 (主任介護支援専門員)

2. 引継ぎ等

これまでと同様に前任者からの引継ぎを行う。ただし、後任者が希望する場合は個別に研修を行うこととしたい。

(研修のイメージ)

次の内容について、講義形式で伝える。

- 生活支援体制整備事業の内容
- 生活支援体制整備事業の必要性
- 八戸市の取組
- 生活支援コーディネーターの活動

第2層生活支援コーディネーター一覧（予定）

圏域	上段：法人名 下段：センター名	名前	職種
大館 東	社会福祉法人スプリング 高齢者支援センター福寿草	川井 純子	主任介護支援専門員
		佐々木 廣平	看護師
白銀南 鮫 南浜	社会福祉法人同伸会 高齢者支援センター瑞光園	内澤 菜美輝	社会福祉士
		笹川 佳子	主任介護支援専門員
市川 根岸	社会福祉法人寿栄会 高齢者支援センター寿楽荘	尾坪 美恵子	主任介護支援専門員
		<u>堀内 路</u>	<u>社会福祉士</u>
南郷	株式会社ゆとり 高齢者支援センターゆとり	下平 敦子	主任介護支援専門員
		出河 洋子	看護師
長者 白山台	医療法人康和会 高齢者支援センターちょうじやの森	<u>中野 直子</u>	<u>看護師</u>
		小林 紗知子	社会福祉士
柏崎 吹上	一般社団法人八戸市医師会 高齢者支援センター八戸市医師会	中里 和江	看護師
		立崎 公章	社会福祉士
三八城 根城	社会福祉法人みやぎ会 高齢者支援センターみやぎ	荻ノ沢 哲也	社会福祉士
		<u>手倉森 尚子</u>	<u>主任介護支援専門員</u>
田面木 館 豊崎	社会福祉法人ファミリー 高齢者支援センターハピネスやくら	小泉 明美	主任介護支援専門員
		工藤 直美	社会福祉士
是川 中居林	社会福祉法人八陽会 高齢者支援センター修光園	高奥 佳代子	社会福祉士
		林崎 絵里香	看護師
白銀 湊	医療法人仁泉会 高齢者支援センターえがお	渡部 哲也	社会福祉士
		高田 恒	主任介護支援専門員
下長 上長	公益財団法人シルバーリハビリテーション協会 高齢者支援センターはくじゅ	久保沢 光浩	社会福祉士
		佐々木 ひとみ	主任介護支援専門員
小中野 江陽	医療法人杏林会 高齢者支援センターアクティブ24	堀内 博子	主任介護支援専門員
		吉田 由美子	看護師